

分類：臨床医学VI(CC2)

授業科目名：血液・腎臓・膠原病内科学（内科学3） 臨床実習（Internal Medicine 3；Hematology, Nephrology, and Rheumatology）

対象学年：5年次選択

時間割コード：71644006-06

1. 主任教員

高橋直人（教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6111、オフィスアワー：8:30-17:00）

2. 担当教員

高橋直人（教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6111、オフィスアワー：8:30-17:00）

亀岡吉弘（准教授、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6113、オフィスアワー：8:30-17:00）

奈良美保（講師、輸血部、6313、オフィスアワー：8:30-17:00）

池田翔（講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

北館明宏（講師、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

山下鷹也（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

小林敬宏（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

齋藤雅也（助教、臨床研究支援センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

阿部史人（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

齋藤綾乃（助教、血液・腎臓・膠原病内科学講座（第三内科）、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

藤岡優樹（助教、中央検査部、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

小林五十鈴（特任助教、総合臨床教育研修センター、6116、オフィスアワー：8:30-17:00）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

1. 診療参加型臨床実習CC2の概要・ねらい

チームの一員として、将来どのような分野の医師にも必要な血液・腎臓・膠原病領域に関する症候、臨床推論、鑑別診断、検査、治療方針決定等を修得する。（1-1，1-2，2-1～2-8）

1）病棟診療

指導医のもと、数名の病棟患者さんを担当する。日々問診、身体診察、カルテ記載、プレゼンテーションを行い、文献検索により病態理解や治療方針の決定に参加する。（4-1～4-8）

2）外来診療

指導医のもと、新患・再来患者さんの病歴聴取、診察、カルテ記載、鑑別疾患の検討、必要な検査の提案、治療方針の提案を行う。（4-1～4-8）

3）CC1のレポート作成を指導する。後輩に指導することで、医学的知識を深め、科学的探究心やエビデンス収集能力、教育的配慮を身に付ける。（5-1～5-5，6-1～6-2）

2. 学修目標

1）症候・病態 臨床推論

(1) 発熱、(2) 全身倦怠感、(3) 黄疸、(4) 貧血、(5) 出血傾向、(6) リンパ節腫脹、(7) 腹部腫瘍

2）基本的臨床手技

(1) 皮膚消毒、(2) 静脈採血、(3) 末梢静脈の血管確保、(4) 中心静脈カテーテル挿入の見学・介助、(5) 腰椎穿刺の見学・介助、(6) 局所麻酔、輸血の見学・介助、(7) カルテ作成、(8) 診断書・検案書・証明書の作成見学・介助、(9) リハビリテーションへの参加

3）検査手技

(1) 尿検査（尿沈査含む）の実施、(2) 末梢血塗抹標本作成・観察、(3) 微生物学検査（Gram染色含む）の実施、(4) 血液型判定の実施、(5) 経皮的酸素飽和度測定、(6) 骨髄穿刺、腎生検の見学・介助、(7) 体脂肪率・水分量・筋肉量の測定

4）外科手技

(1) 無菌操作の実施、(2) 創消毒の実施

5）救命処置

(1) 身体徴候・バイタルサインから、緊急性の高い状況を判断できる、(2) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) 医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法、EBM について

(1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント(2-4)、(2) 悪性腫瘍の患者・家族への病状説明(2-4, 2-7)、(3) 認知症や老々介護、生活困窮者に対する支援センターとの連携(2-5, 2-6)、(4) Up To Date や PubMed 使用によるエビデンス検索(4-4, 5-3)

詳細については第1週目月曜日のオリエンテーションで解説する。

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

#### 4. 教科書・参考書

朝倉内科学、ハリソン内科学、本学のクリニカルクラークシップガイド、講義資料

#### 5. 成績評価の方法

態度、ミニ CEX、出席

#### 6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

・本学のクリニカルクラークシップガイドの、実習直前に必ず復習してくる事項【必修(コア)事項】を学習してくること。

・経験記録、手帳の記載を行うこと。

(\*) オリエンテーションは初日に行います。

( ) 総括は最終日に行います。進捗状況確認を定期的に行います。

予定は変更することがあります。

血液・腎臓・膠原病内科学（内科学3） 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第1回 月曜日 [ 8:30 - 17:00 ] 副題 オリエンテーション 担当 各担当教官	( * ) オリエンテーション ( 医局 ) 診療参加型 病棟・外来実習 15:00- 血液カンファレンス カンファでのプレゼン評価
第2回 火曜日 [ 8:30 - 17:00 ] 副題 実習 担当 各担当教官	診療参加型 病棟・外来実習 13:30-総回診 カンファでのプレゼン評価
第3回 水曜日 [ 8:30 - 17:00 ] 副題 実習 担当 各担当教官	診療参加型 病棟・外来実習 病棟実習時ミニ CEX 16:00- 腎カンファレンス カンファでのプレゼン評価
第4回 木曜日 [ 8:30 - 17:00 ] 副題 実習 担当 各担当教官	診療参加型 病棟・外来実習 病棟実習時ミニ CEX 14:00- 実習進捗確認
第5回 金曜日 [ 8:30 - 17:00 ] 副題 実習 担当 各担当教官	診療参加型 病棟・外来実習 病棟実習時ミニ CEX 15:00- 腎グループ入院患者検討会 ( ) 総括